

プレミアム丹波栗のマロングラッセ



45g超の丹波栗が叶える
+ 極上のマロングラッセ。



株式会社やながわ

株式会社やながわでは、丹波で収穫された特産物を自社の特産加工場にて一次加工し、更にその加工品と地場の産物(卵・牛乳・米・酒・フルーツなど)を活用して和洋菓子の製造販売をしています。「プレミアム丹波栗のマロングラッセ」は和栗の最高峰である「丹波栗」のブランド価値と加工技術で世界をターゲットとした開発コンセプトの商品です。

やながわは丹波栗の生産地に加工設備を備え、ある程度の製造規模を有しています。丹波栗の加工に関わる時期は2ヶ月余りで、加工技術はその間に磨いていきます。長年の加工に携わってきたノウハウの蓄積こそが、弊社の最も大きな財産です。この度は、その一次加工した特大の渋皮煮を弊社のパティシエが更に手間暇を掛け、その技術力で新たな価値を生み出しました。

「プレミアム丹波栗のマロングラッセ」の特徴はその大きさにあります。特別大きな丹波栗(45g以上)の渋皮煮をブランド等々の洋酒に糖度を上げながらジッ

クリと漬け込んだ後、乾燥させ更に寝かせる事により表面が糖衣でコーティングされていきます。渋皮煮の製造から最終のマロングラッセが完成するまで手間暇を掛け醸し出した商品です。

ターゲット市場を贈答用、超富裕層とすることで市場は限定され狭められますが、ブランド価値を高めていくためには必要不可欠だと考えています。

それぞれの地域が、持続可能な地域づくりのために模索を繰り返していますが、丹波地域においても農村農地の維持管理が喫緊の大きな課題となっています。丹波ブランドを育み、丹波の地名を全国に知らしめると共に、私たちの暮らしに大きな恩恵をもたらしてくれた丹波栗。グローバル化する時代背景だからこそ、丹波の宝を日本の宝として世界に打っていけないものかと考え、丹波栗の活用が丹波地域の創生戦略に成り得ると信じています。「プレミアム丹波栗のマロングラッセ」もこのような壮大な夢を叶える切り札の一つになることを願っています。

事業者概要

所在地 兵庫県丹波市春日町野上野209-1
 代表者 柳川 拓三
 創業 1892年
 資本金 1,000万円
 社員数 40名
 事業内容 特産物の加工・卸・販売／和洋菓子製造・卸・販売
 主な販売場所 夢の里やながわ本店・福知山店、丹波やながわ東京春日店
 問い合わせ先 TEL：0795-74-0010
 FAX：0795-74-2010
 HP(URL) <https://tamba-yanagawa.co.jp/>



沿革

明治25年6月 柳川商店として創業
 昭和53年 やながわ製茶と改名
 平成5年10月 「株式会社やながわ」に法人化
 平成10年 特産加工場を設立
 平成17年10月 夢の里やながわ本店 開業
 平成17年10月 夢の里やながわ福知山店 開業(篠尾)
 平成19年7月 夢の里やながわ福知山店 移転(駅前町)
 平成21年9月 阪神百貨店梅田本店に「TAMBA FU-DO」出店(平成29年3月まで)
 平成25年3月 夢の里やながわ本店 移転して開業
 平成30年9月 「TAMBA FU-DO 東京春日店」東京都文京区に開業
 令和6年8月 「丹波やながわ 東京春日店」として 移転開業(文京区本郷)